

山行報告書

受付 No.	117	登山地・ルート	塩見岳
目的	歩行トレーニング		
メンバー	L: 大山、ひげ		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
7・1・日	曇／ 晴れ	浜松＝鳥倉林道P～三伏峠～本谷山～塩見岳～三伏峠～鳥倉林道P＝浜松 5:09 7:52 8:50 11:10 14:24 16:31

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

天気予報はあまり芳しくなく、登山口に向かう途中でも雨が降ったりした。駐車場で仮眠して目覚めると、ガスで真っ白。歩き始めて間もなく雨。カッパを着る。が、すぐ止む。それでも三伏峠までは行くと申し合わせて樹林帯を登る。1回目の休憩で、周りをヌカカが飛び、ちくちくと刺された。三伏峠の手前では数箇所、半分崩れたようなハシゴがあり、濡れて滑りそうだった。三伏峠で一服。ガスで視界はないが、トレーニングなので関係なく先へ進む。アップダウンがわりとあって、帰りのことを考えてちょっとうんざりする。本谷山を過ぎると、ガスが晴れてきて、塩見岳へと続く尾根の連なりが見えてきた。塩見岳は見えそうで見えない。塩見小屋への登りは顔を出した太陽のせいでも暑く、小屋から先が思ったより長くて1時間弱かかった。山頂の上空は快晴で、歩いてきた稜線が一望できた。しかし荒川岳方面はガスで展望はない。帰りは3回くらいの登り返しがあり、ひげさんが少しペースダウンする。下るにつれてガスで周囲が覆われてくる。三伏小屋からはひたすら下る。日帰りだったので、持ってきたスポーツドリンクやお茶をがぶ飲みして、最後は足らなくなった。水分補給の配分も、トレーニングの段階からきちんとやっておかなくてはいけないな、と思った。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者
-----	----	----	----	---	---	---	-----